

# 介護職員初任者研修（仮称）と訪問介護員養成研修2級課程の比較

- 介護福祉士課程への連続性を考慮し、「こころとのからだのしくみと生活支援技術」として演習による介護技術を修得する時間を大幅に確保
- 地域包括ケアシステムにおけるチームケアの提供を推進していくため、「医療との連携」に係る時間を確保
- 今後の認知症高齢者の増加を見込んで、「認知症の理解」に関する科目を新設
- 「職務の理解」や「振り返り」の科目において、実習（職場見学等）により、実際の介護現場の体験等を実施

## 訪問介護員養成研修2級課程

## 介護職員初任者研修（仮称）

	科目	時間数
講義 58時間	社会福祉の基本的な理念及び福祉サービスを提供する際の基本的な考え方に関する講義	6時間
	老人保健福祉及び障害者福祉に係る制度及びサービス並びに社会保障制度に関する講義	6時間
	訪問介護に関する講義	5時間
	老人及び障害者の疾病、障害等に関する講義	14時間
	介護技術に関する講義	11時間
	家事援助の方法に関する講義	4時間
	相談援助に関する講義	4時間
	医学等の関連する領域の基礎的な知識に関する講義	8時間
実技講習 42時間	福祉サービスを提供する際の基本的な態度に関する演習	4時間
	介護技術に関する演習	30時間
	訪問介護計画の作成等に関する演習	5時間
	レクリエーションに関する演習	3時間
実習 30時間	介護実習	24時間
	老人デイサービスセンター等のサービス提供現場の見学	6時間
	合計	130時間



科目	時間数
職務の理解	6時間
介護における尊厳の保持・自立支援	9時間
介護の基本	6時間
介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9時間
介護におけるコミュニケーション技術	6時間
老化の理解	6時間
認知症の理解	6時間
障害の理解	3時間
こころとからだのしくみと生活支援技術	75時間
振り返り	4時間
合計	130時間

\*講義と演習を一体で実施

\*実習は必要に応じて実施